

令和2年6月2日

入学生オリエンテーション校長挨拶

おはようございます。

岡山理科大学附属中学校と高校の校長の田原です。皆さん、入学おめでとう。

今年度、本校の中学校には、63名、高校には278名の皆さんが入学しました。本日、皆さんが登校して、ようやく新学期が始まりました。とても嬉しく思っています。中学校、高校の教員や事務職員も皆さんを心から歓迎しています。

皆さんの入学をお祝いする大切な入学式は、開催することができませんでした。また、最初の登校日が今日まで、2か月も遅くなってしまったことはたいへん残念です。コロナウイルスの感染拡大を防止したいということが理由であったことを理解して下さい。

さて、皆さんの入学にあたり、まずはお願いから話します。

それはコロナウイルス対策です。皆さんの健康と安全、健全な学校生活を維持していくためには、学校でコロナウイルス感染症を発生させていけません。皆さん一人ひとりが基本的な感染症対策について、手を抜くことなく確実に実施して下さい。私の挨拶の後で、担当の教員から詳しい説明がありますが、皆さんが感染防止に必要な行動を理解し、実行してもらうことを強くお願いします。

次に、附属中学校や高等学校で、これからの三年間で皆さんに特に身に
着けてほしい力について話します。それは、多様な意見を受け入れて新た
な考えとしてまとめ上げていく能力です。

現在の日本の社会は科学技術の発展と利用が急速に進んでいます。それ
は皆さんが使っているスマートフォンを考えればわかりますね。また、経
済、社会、文化のグローバル化も急速で、多様な価値観や考え方が存在す
る社会になってきています。このように急速に変わっていく社会では、こ
れまでの経験、価値観や常識を頼りにした判断では解決のつかない課題が
多数生じています。このような課題を解決するには、様々な意見や見解を
集めて、最も合理的な意見に集約していくことが欠かせません。これは何
か難しいことのように聞こえるかもしれませんが、実は、考えることとコ
ミュニケーションスキルがあれば実践できます。まず、情報の正しさを調
べてみる、他の人の意見をしっかりと聞き、根拠も尋ねてみる、自分の考
えをまとめ、それをはっきりと表現する、という具合です。このような実
践は、本校の教育の中で行っていきます。皆さんが所属する中学・高校の
どのコースでも準備されています。

附属中学校は、将来の高校進学や大学進学に備えます。多面的な見方を
行い、考えをまとめていく力は、進学に欠かせない高い学力養成の課程で
培われます。

附属高校には4つのコースがありますね。グローバルサイエンスコース
では、探究活動や岡山理科大学と連携して課題解決型の学びを行い、実践

していきます。総合進学コースでは、アニメ・デザイン、動物、ものづくりの実技などにおいて、感性を養い、様々なアプローチを検討することが良い機会となります。スポーツサイエンスでは、スポーツを科学的に学ぶことなどに関していろいろなアプローチがあり、それらを総合的に判断していく中で学んでいくことができます。国際バカロレアコースは、その教育そのものが、多様な文化の理解と尊重の精神を実践できる若者の育成を目的としています。

最後に、皆さん、「学力」とは何だと思えますか？それは、多様な意見を科学的に考えて取りまとめていく力です。これは、皆さん一人ひとりがこれからの社会をたくましく生き抜くために欠かせない、本当の意味での「学力」です。皆さんのそれぞれが自らの高みをめざし、頑張って勉学や活動にはげんでいただき、卒業する時には、「学力」を十分身につけていることを希望しています。

本日は入学おめでとう。